

バーチャル飛鳥京

地下に眠る飛鳥の宮都の遺構を現代の技術で
よみがえらせます。CGで復元した往時の風景
と現実の風景を重ね合わせ、古代の飛鳥をご
覧下さい。

楽しめる
構成資産

飛鳥宮跡、飛鳥水落遺跡、飛鳥寺跡、
川原寺跡、石舞台古墳、大官大寺跡



アプリのDLはこちら

App Store

Google Play



XR藤原宮

藤原宮跡エリア内を移動しながら、リアルタイ
ムに藤原宮の復元CGを体験できます。荘厳
な宮殿の実物大の姿をお楽しみください。

楽しめる
構成資産

藤原宮跡



アプリのDLはこちら

App Store

Google Play



桜井周遊ARガイド

それぞれの文化財の魅力を研究員が詳しく解
説し、AR(拡張現実)やVR(仮想現実)などの
先端技術を使用して、かつて存在していた
建物を目の前に再現させます。

楽しめる
構成資産

山田寺跡



アプリのDLはこちら

App Store

Google Play

構成資産
位置図

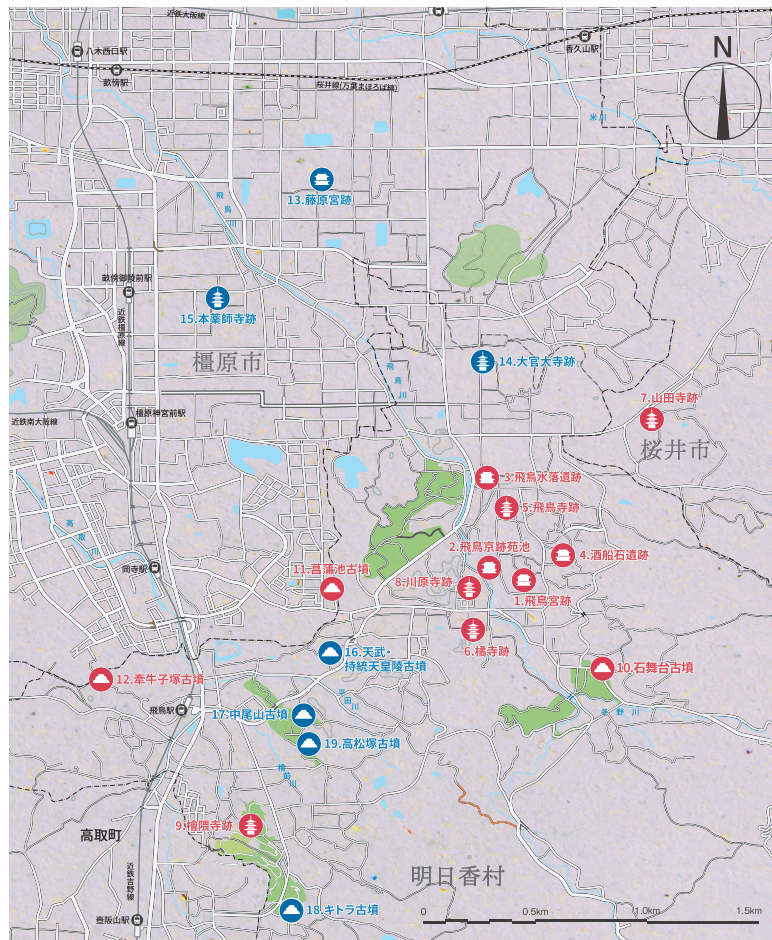
宮殿・官衙跡



仏教寺院跡



墳墓



飛鳥の宮都

	1. 飛鳥宮跡	明日香村
	2. 飛鳥京跡苑池	明日香村
	3. 飛鳥水落遺跡	明日香村
	4. 酒船石遺跡	明日香村
	5. 飛鳥寺跡	明日香村
	6. 橘寺跡	明日香村
	7. 山田寺跡	桜井市
	8. 川原寺跡	明日香村
	9. 檜隈寺跡	明日香村
	10. 石舞台古墳	明日香村
	11. 菖蒲池古墳	橿原市
	12. 牽牛子塚古墳	明日香村

藤原の宮都

	13. 藤原宮跡	橿原市
	14. 大官大寺跡	明日香村 橿原市
	15. 本薬師寺跡	橿原市
	16. 天武・持統天皇陵古墳	明日香村
	17. 中尾山古墳	明日香村
	18. キトラ古墳	明日香村
	19. 高松塚古墳	明日香村

事務局

HP

キッズページ



世界遺産「飛鳥・藤原」協議会

奈良県

橿原市

桜井市

明日香村

奈良県地域創造部世界遺産室内

〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30

TEL: 0742-27-2054 URL: <https://asuka-fujiwara.jp/>

世界遺産 飛鳥・藤原の宮都とは？

顕著な普遍的価値

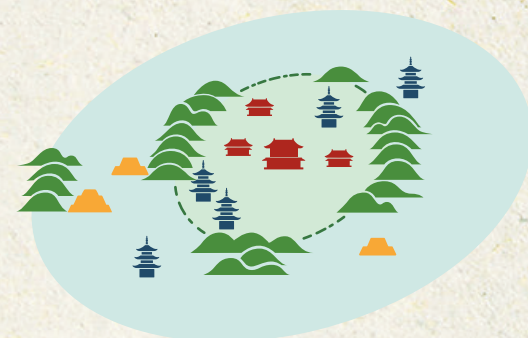
※本文章は、世界遺産委員会決議48COM 8B.19の暫定的な仮訳をもとに一部抜粋し作成しました。

「飛鳥・藤原の宮都」は、中国および朝鮮半島の諸王国との交流を通じて成立した、日本列島における連続する二つの初期宮都に関連する19の構成資産から成ります。奈良盆地に位置するこれらの遺跡は、中国の律令制をモデルとした東アジアにおける中央集権的国家体制の誕生・成立の形成過程を示しています。飛鳥および藤原の宮都は、8世紀の平城京(奈良)および9世紀の平安京(京都)など、その後の日本の宮都の建設と発展に影響を与えました。

両宮都の配置、意匠、技術および都市計画は、在来の伝統と東アジア諸地域から受容した文化・技術との融合の結果です。19の構成資産は、これらの宮都の有形的かつ空間的特質を示す三つの類型、すなわち宮殿・官衙跡、仏教寺院跡、墳墓を代表するよう選定されています。

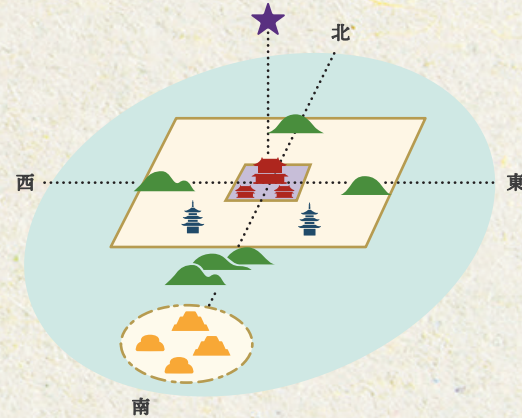
飛鳥の宮都(588～694年)に関連する遺跡は、中央集権体制の導入初期段階を反映し、政治権力の宮殿への集中と統治機能の段階的整備を示しています。飛鳥寺(構成資産005)は日本列島最初の仏教寺院であり、仏教伝来を示しています。有力氏族の影響下にある地域では氏寺や新たな墳墓形式が出現しました。続く藤原の宮都(694～710年)の遺跡は、この中央集権体制の完成段階を示しています。官衙を含む宮殿を宮都の中心に据え、その周囲には国家寺院および計画的に配置された墳墓が置かれました。

  宮殿・官衙跡  仏教寺院跡   墳墓



飛鳥の宮都

飛鳥盆地につくられた飛鳥の宮都は、日本史上はじめて天皇の宮殿の位置が同じ場所に固定化され、政治の中心としての継続性が確保されました。そして行政機能の拡充にともなって、宮殿の周囲には官衙(役所)が追加的に設置されました。政治・社会秩序の再編が反映され、中国系の方墳、日本独自に創出した八角墳も採用されました。強大な氏族や皇族は飛鳥盆地内外の自らの影響下にある地域に仏教寺院や墳墓を築くことで、政治的な権威の象徴としました。



藤原の宮都

飛鳥盆地北西の平野部に方形街区を備えた中国式都城である藤原京が造営され、その中心に藤原宮が設置されました。中国的宇宙観において世界の中心である北極星直下に置かれた大極殿を中心に、官衙を集約した構造は、中央集権体制を具現化したものです。

国家寺院が宮都と国家の鎮護を願って計画的に配置され、八角墳と円墳からなる天皇と臣下の墳墓は、藤原宮南郊の特定地域に築かれました。

世界遺産とは？

世界遺産とは、地球や人類が、この地球で生み出した未来に守り伝えるべき、かけがえのない資産で、1972年のユネスコ総会で採択された「世界遺産条約」に基づき、世界遺産委員会の審議を経て「世界遺産一覧表」に記載されたもののことです。建造物や遺跡などの「文化遺産」、地形や生態系などの「自然遺産」、文化と自然の両方の要素を兼ね備えた「複合遺産」の3種類があります。

世界遺産に登録されるためには、人類全体にとって現代及び将来世代に共通した重要性を持つ「顕著な普遍的価値」を備えており、10ある評価基準のいずれか1つ以上に合致していること、完全性や真実性の条件を満たしていること、締約国の国内法により保存管理体制がとられていること、といった条件を満たしていることが必要です。

評価基準

評価基準 ii

建築、科学技術、記念碑、都市計画、景観設計の発展に重要な影響を与えた、ある期間にわたる価値観の交流又はある文化圏内での価値観の交流を示すものである。

「飛鳥・藤原の宮都」の宮殿・官衙跡、仏教寺院跡、墳墓の配置、意匠、技術および都市計画は、中国および朝鮮半島の同時代の政治勢力との重要な価値の交流を示すものであり、また日本列島への仏教伝来を示しています。これら初期の宮都は、8世紀以降の日本列島における宮都の形成と発展に深い影響を与えました。

評価基準 iii

現存するか消滅しているにかかわらず、ある文化的伝統又は文明の存在を伝承する物証として無二の存在(少なくとも希有な存在)である。

「飛鳥・藤原の宮都」に関連する遺跡は、その立地、空間構成、相互関係および遺跡群の構成を通じて、中央集権体制に基づく東アジアの古代宮都の形成過程という文化的伝統に関する重要な証拠を提供しています。

完全性・真実性

「飛鳥・藤原の宮都」を構成する19の構成資産は、日本列島における初期の中央集権体制の形成および特質を示すために必要なアトリビュートをすべて備えています。遺構の大部分は地下に所在し、十分な調査が行われ、安定した状態で維持されています。顕著な普遍的価値のアトリビュートは、宮都の廃絶後に地下に埋蔵された考古学的遺跡であり、農地として利用されつつも良好な保存状態を保っています。両宮都の空間構成や配置に関する証拠は、発掘調査および文献資料によって確認されています。遺跡は発掘調査後に埋め戻され、非破壊的手法と材料を用いた地上表示により可視化・インタプリテーションが行われています。

保存管理

構成資産は文化財保護法に基づく史跡・特別史跡・名勝、または国有財産法に基づく陵墓として保護されており、区域内での開発や改変は厳格に規制されています。

緩衝地帯の保護は、「古都保存法」および「明日香法」に基づき、地形改変や建築物の高さ・色彩・意匠の規制が行われています。周辺環境の保全のため、都市計画法に基づく風致地区指定も適用されています。緩衝地帯の一部は国営公園として直接管理され、また地下遺構は文化財保護法に基づく「周知の埋蔵文化財包蔵地」として保護されています。

世界遺産登録までの道のり

2007年1月

暫定一覧表への記載

推薦書の作成

推薦の決定

閣議了解を経て、推薦書をユネスコに提出

審査

イコモスによる記載勧告
イコモスによる現地調査

世界遺産一覧表への記載

2026年7月

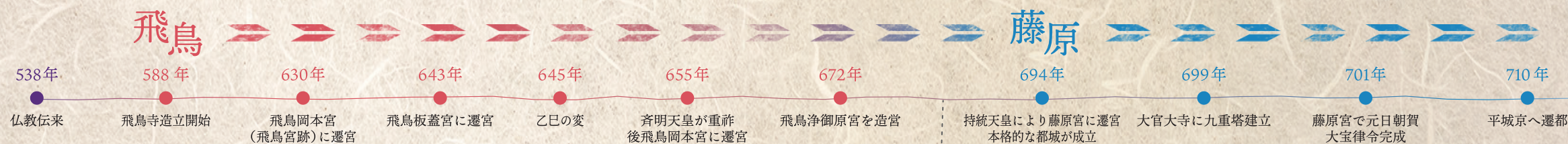
第48回世界遺産委員会(韓国釜山)で
審議され、記載決定(26日)

2025年1月

2025年 ～ 2026年6月

飛鳥・藤原の宮都

飛鳥の宮都では、宮殿や官衙、寺院が次々と整えられ、天皇を中心とした国づくりが始まりました。ここで芽生えた新しい政治や文化は藤原の宮都へと受け継がれ、律令制に基づく国家体制が成立します。外来文化と日本古来の伝統が融合し、「日本」という国の原型がこの地から生まれました。歩けば歴史が語りかけてくる、そんな魅力あふれる舞台。



飛鳥の宮都

中央集権体制を反映した初期段階の宮都



宮殿・官衙跡

位置が固定した天皇の宮殿を中心に、国家統治に必要な官衙施設が配置されていきました。



1 飛鳥宮跡



2 飛鳥京跡苑池



3 飛鳥水落遺跡



4 酒船石遺跡



仏教寺院跡

仏教伝来と仏教信仰の奨励により、有力氏族や皇族は自己の権威を示す私的な寺院を建立しました。



5 飛鳥寺跡



6 橘寺跡



7 山田寺跡



8 川原寺跡



9 檜隈寺跡



墳墓

前方後円墳に代わり中国系の方墳や日本独自の八角墳など、墳墓の秩序が再編されました。



10 石舞台古墳



11 菖蒲池古墳



12 牽牛子塚古墳

藤原の宮都

中央集権体制を体現した完成段階の宮都

中国の律令制をモデルに、国家の統治に必要な機能が天皇の宮殿に集約されました。



13 藤原宮跡

文物の儀、
是に備はれり



文武天皇

日本で初めて、

“国家の仕組みが完成した”ことを公式に宣言！

行政制度、都の構造、宮殿・官衙の配置、仏教を中心とした国家理念など、飛鳥時代を通じて進められてきた政治改革が、藤原宮を舞台にひとつの完成形に達した、国家として整ったと、大宝元年の元日朝賀で天皇が宣言した言葉。

中央集権体制を支えるため国家の鎮護を担う国家寺院が出現しました。



14 大官大寺跡



15 本薬師寺跡

八角墳を頂点とする秩序の中央集権的墓制が完成しました。



16 天武・持統天皇陵古墳



17 中尾山古墳



18 キトラ古墳



19 高松塚古墳



宮殿・官衙跡 ～中央集権国家の形成過程～

「飛鳥の宮都」の時代 中央集権体制が始まった宮殿・官衙



あすかきゅうせき

1 飛鳥宮跡

630年から694年まで同じ場所に建て替えを重ねた飛鳥岡本宮（舒明天皇）、飛鳥板蓋宮（皇極天皇）、後飛鳥岡本宮（齊明天皇）、飛鳥浄御原宮（天武天皇・持統天皇）の4つの宮殿からなる遺跡です。方形区画や方位に沿った配置には、中国や朝鮮半島の影響をみることができます。建物配置から公的な儀礼や政務の場と天皇の居住空間を併せ持つことがわかっています。645年の「乙巳の変」など日本古代史の重要な出来事の舞台にもなりました。

発掘時▶



Empress
KOGYOKU



奈良県立橿原考古学研究所提供

Emperor
TEMU



発掘時▲ 奈良県立橿原考古学研究所提供

あすかみずおちいせき

3 飛鳥水落遺跡

中大兄皇子（後の天智天皇）が、660年に日本で初めて設置した「漏刻」（水時計）を管理する施設です。中国・唐の最新設計・製作技術でつくられた漏刻は、政務・儀式の執行や勤務管理に不可欠な時間の概念が導入されたことを示しています。漏刻の遺跡としては東アジア唯一のものです。



Prince
NAKANOOE



発掘時▼



▲ 発掘時

さかふねいしいせき

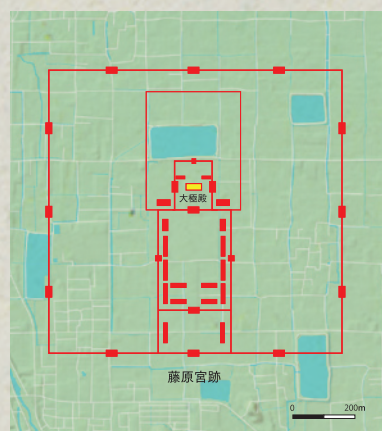
4 酒船石遺跡

飛鳥宮跡の北東の丘陵に位置し、湧水施設と亀形石槽、酒船石等の石造物、丘陵を取り囲む石垣からなります。石垣の様子は齊明天皇の時代である『日本書紀』656年の記事「宮の東の山に石を累ねて垣とす」や「石の山丘」の記述と一致します。中国の聖獣である亀の造形や高度な石工技術に東アジアとの交流が伺えます。日本古来の伝統的な水の信仰による天皇の祭祀場の遺跡です。

Empress
SAIMEI



COLUMN



宮殿・官衙跡

飛鳥の宮都以前の時代は、天皇の宮殿は代替わりごとに異なる位置へ遷っていたため、宮都が形成されることはありませんでした。位置を定め、政治や儀式の場を備えた飛鳥宮の出現により、天皇の居所であった宮殿が政治の中心になりました。宮殿の周囲には、国家運営に必要な施設が、徐々に追加されていきました。その後に造られた藤原宮は、天皇の居住区に加えて中心に政治・儀式を執り行う大極殿を配置し、朝堂院や官衙施設など国家運営に必要な施設をすべて集約した、中央集権体制を体现する宮殿となりました。

「藤原の宮都」の時代 中央集権体制を具現した宮殿



13 ふじわらきゅうせき 藤原宮跡

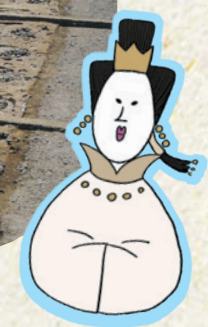
Emperor
MOMMU



持統天皇が694年に飛鳥浄御原宮から遷宮した宮殿です。およそ1km四方の広大な宮殿には、天皇の居所のほか、国家的儀式が執り行われる大極殿を中心に官衙などの施設が集約されました。主要な建物に中国式の宮殿建築を採用し、律令制に基づく中央集権国家の宮殿の姿を示しています。710年に平城京へ遷都するまで、日本の政治と文化の中心として栄えました。



Empress
JITO



発掘時▲



藤原宮跡を囲む大和三山

藤原宮跡は国の名勝に指定された大和三山に囲まれた平地に位置しています。『万葉集』に収められた「藤原宮の御井の歌」には、東の香具山・西の畝傍山・北の耳成山の三山と、そしてはるか南の吉野山によって抱かれた藤原宮が高らかに詠われています。藤原宮の選地に際しては、大和三山が重要な役割を担っていたと考えられています。

◀ 藤原京復元模型

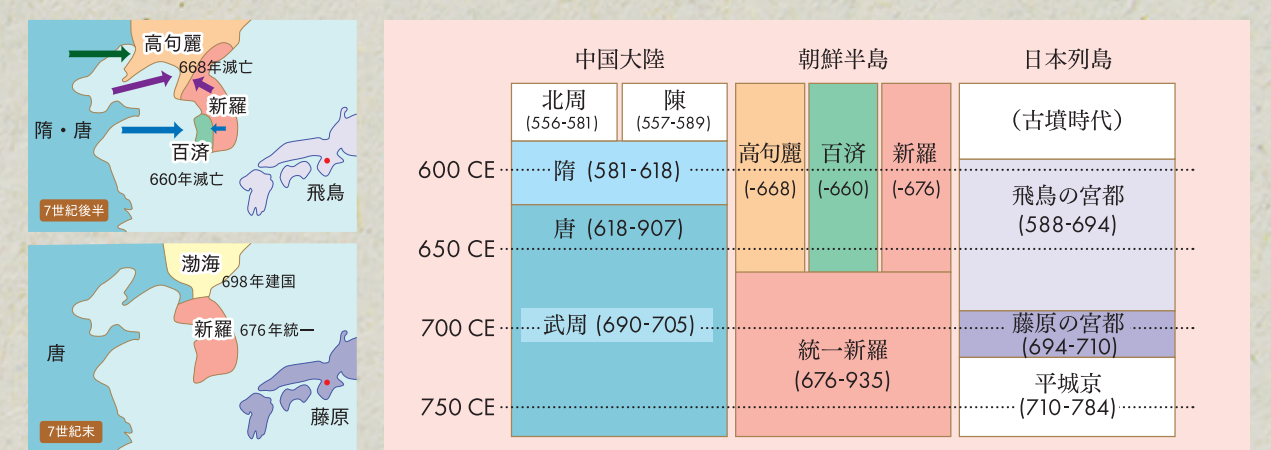
COLUMN

緊迫した東アジアの国際情勢と「飛鳥・藤原」

「飛鳥・藤原の宮都」において中央集権的な国家体制が成立した背景には、当時の緊迫した東アジアの国際情勢がありました。中国大陆では、6世紀後半に隋が建国され、後漢以来約300年ぶりとなる統一王朝が成立しました。その後勢力の拡大をはかった隋と、その後継である唐に対し、朝鮮半島の高句麗、百済、新羅は、自国の存亡をかけて国内の権力集中に努め、相互に外交交渉や武力衝突を繰り返すなかで、中国王朝の最新の統治制度を摂取しようと試みました。

東アジアの東端に位置する日本列島も例外ではなく、複雑な国際情勢に対応するため、隋・唐や朝鮮半島諸国との交流を通じて国力を高め、中国の律令制を模範とする中央集権的な国家体制を整える道を選択したのです。

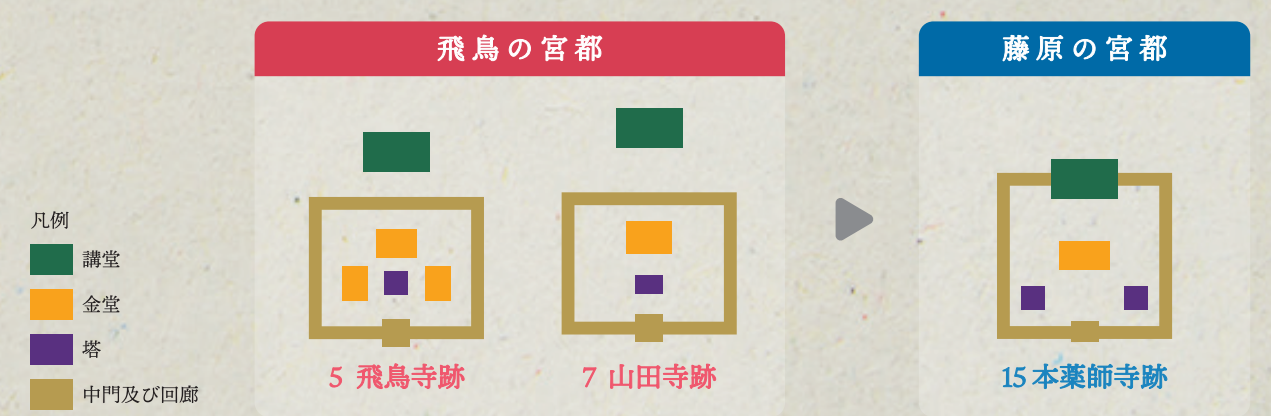
結果として、7世紀後半には唐が新羅と同盟して百済、高句麗を滅ぼしました。その後、新羅は唐との抗争を経て朝鮮半島の国家統一を果たし、7世紀末には東アジア情勢は安定期を迎えました。



仏教寺院跡

古代インドで生まれた仏教は、中国や朝鮮半島を経て、6世紀の半ばに日本へ伝えられました。日本で仏教の信仰が始まると、有力氏族や皇族によって古墳に代わる権力の象徴として、氏寺の造営が相次ぎました。藤原の宮都では、中央集権的な国家体制の整備と連動し、仏教による国家鎮護を目的とした国家寺院が計画的に造営されました。

高句麗にみられる一塔三金堂を採用した飛鳥寺跡、百済の影響が色濃くありつつも日本独自のアレンジを施した山田寺跡、新羅でも流行した双塔伽藍を採用した本薬師寺跡など、様々な伽藍配置の変遷を見ることができます。





仏教寺院跡 ～国家宗教としての仏教寺院の成立～

「飛鳥の宮都」の時代
仏教の伝来。
権力の象徴としての寺院造営

「藤原の宮都」の時代
国家鎮護を目的とした
国家寺院の成立



あすかでらあと

⑤ 飛鳥寺跡

日本で初めて建立された本格的な仏教寺院であり、596年に完成した蘇我氏の氏寺です。高句麗の影響を受けた一塔三金堂式の伽藍配置は国内唯一の事例です。飛鳥寺の建立に導入された知識や技術は、宮殿・寺院・墳墓の造営にも大きな影響を与えました。銅造の釈迦如来坐像（飛鳥大仏）とその石製台座は、創建当時の位置で現存しています。

SOGA no UMAKO



発掘時▲

奈良県立橿原考古学研究所提供



発掘時▲



たちばなでらあと

⑥ 橘寺跡

橘寺は、皇族との関わりが深い尼寺として7世紀前半に建立されました。伽藍配置には百済の影響が、埴仏には唐の文化の影響が見られます。東アジアとの交流を背景に、仏教を政治の根幹に位置付けていく様子を伝えています。



かわらでらあと

⑧ 川原寺跡

川原寺は、天智天皇が母・斉明天皇を弔うために建立しました。後に藤原の宮都では国家寺院に位置づけられたことから、国家寺院の成立の直前の段階を示しています。伽藍の造営尺度や瓦の文様、堂内の荘厳方法などに中国・唐の影響が認められますが、伽藍配置は我が国で独自に創出されたものです。

Emperor TENJI



ひのくまでらあと

⑨ 檜隈寺跡

渡来系氏族の東漢氏によって建立された氏寺です。瓦積基壇や西を向いた独特の伽藍配置には、百済から伝わった技術や文化の影響を色濃く残しています。

YAMATO no AYA



発掘時▲



Emperor MOMMU



やまだでらあと

⑦ 山田寺跡

山田寺は、蘇我倉氏の氏寺として、7世紀中頃から建立された寺院です。伽藍配置には百済の影響を、仏像や埴仏には唐の影響を見ることができます。また、発掘調査では、東面回廊が倒壊した状態で見つかっています。現存する世界最古級の木造建築である法隆寺よりも古い建築様式を伝えています。

発掘時▼



SOGA no KURAYAMADA no ISHIKAWAMARO



COLUMN

東面回廊の実物展示

山田寺跡から出土した東面回廊は、山田寺跡から近い飛鳥資料館で実物を見ることができます。出土した木製の部材に保存処理を施し、再び組み上げて立体的に展示されていることで、当時の建築を目の前で直接体感できるようになっています。また飛鳥資料館には、山田寺跡をはじめ、「飛鳥・藤原」の地域の発掘調査で出土した瓦やさまざまな遺物が数多く展示されており、遺跡とセットで巡ることで、往時の姿を深くしのぶことができます。

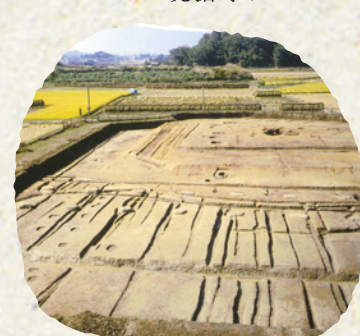


だいかんだいじあと

⑭ 大官大寺跡

大官大寺は、藤原宮の南東に計画的に造営されました。仏教による鎮護国家を目的とした中央集権体制の装置として最上位の国家寺院として位置づけられ、当時最大の規模を誇ります。伽藍配置は、中門・金堂・講堂が中軸に並び、金堂の南東には古代東アジア諸国に共通する国家仏教の象徴である九重塔が配置されました。鎮護国家を目的とする国家寺院が確立したことを証明しています。

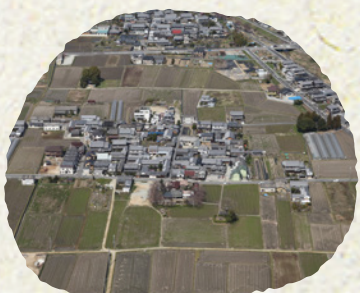
発掘時▼



もとやくしじあと

⑮ 本薬師寺跡

本薬師寺は、天武天皇が発願し、藤原宮の南西に計画的に造営された国家寺院です。東アジアの最新様式であった、金堂の正面に2基の塔を並んで配置する「双塔式伽藍」を日本で初めて採用した事例であり、後の寺院伽藍に大きな影響を与えました。





墳墓 ～律令による墓制の変化～

「飛鳥の宮都」の時代
政治・社会秩序の再編により
変化する墳墓

「藤原の宮都」の時代
中央集権体制を
視覚的に表した墳墓



いしぶたいこふん

10 石舞台古墳

7世紀前半に築かれた、国内最大級の横穴式石室をもつ方墳です。推古天皇の時代に最有力者であった蘇我馬子の墓と考えられています。中国の影響を受けた方形の墳丘と、古墳時代から続く伝統的な埋葬方法が融合した、古代国家形成期を伝える墳墓です。



SOGA no
UMAKO



16 天武・持統天皇陵古墳

7世紀後半に築かれた八角墳です。墳丘は五段に構築し全体を切石で覆っていました。文献資料によると、石室には天武天皇の夾紵棺と持統天皇の骨蔵器（火葬骨を納める容器）が並んでおかれていたとされます。藤原宮の中心軸上に築かれ、天皇を頂点とする中央集権国家の成立と、その権威を示しています。



Emperor
TEMU

Empress
JITO



なかおやまこふん

17 中尾山古墳

8世紀初めに築かれた八角墳で、小規模な石室を備えています。この小石室には火葬した遺骨を納めた骨蔵器を設置していたと考えられます。仏教思想に基づく火葬導入を示し、中央集権国家の成立時期における葬送儀礼の変化を伝えています。



発掘時▲

11 菖蒲池古墳

7世紀中頃に築かれた方墳です。丘陵を背に南に開く立地は中国の風水思想を反映しています。横穴式石室には、国内で他に例のない装飾が施された家形石棺が2基納められています。新しい思想や技術による墳墓の変化を伝えています。



発掘時▼



けんごしづかこふん

12 牽牛子塚古墳

7世紀後半に築かれた八角墳です。八角墳は中国の思想を背景に、日本で独自に生み出された墳墓形式です。2室からなる石室には夾紵棺（麻を漆で塗り固めた棺）が納められており、当時の最高位の人物が葬られたと考えられています。



きとらこふん

18 キトラ古墳

7世紀末から8世紀初めに築かれた円墳です。墳丘の立地は風水思想を反映しています。石室内の壁面と天井に塗られた漆喰には四神や獣頭人身の十二支、日月のほか、現存最古の中国式天文図が描かれています。



たかまつづかこふん

19 高松塚古墳

7世紀末から8世紀初めに築かれた円墳です。石室内には四神や男女群像、日月、星宿図などの極彩色の壁画が描かれていました。男女群像の構成は、中国・唐の墳墓壁画に極めて類似しています。墓室構造や壁画、出土遺物から、当時の東アジアとの最新の交流を知ることができます。



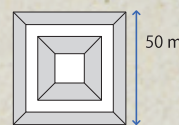
COLUMN

墳墓

飛鳥の宮都の時代、前方後円墳に代表される旧来の墓制を改めて、中国の影響を受けた方墳が採用されました。仏教寺院の建立が有力氏族の権威を表す手段となったことで墳墓の規模も縮小し、築造数も減少しました。さらに、日本独自の八角墳を創り出しました。

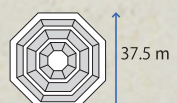
藤原の宮都では、中央集権体制の整備が進み、八角墳を最上位に、円墳をそれに次ぐ地位として視覚的に示した墓制が完成しました。これらの墳墓には、風水思想や、築造技術、色鮮やかな壁画などに東アジアの影響が強く見られます。

飛鳥の
宮都



10 石舞台古墳

藤原の
宮都



16 天武・持統天皇陵古墳



19 高松塚古墳

理解が深まる! ガイダンス施設



奈良県立万葉文化館

万葉集をテーマにしたミュージアムです。万葉の世界を体験できる展示のほか、世界遺産「飛鳥・藤原の宮都」のガイダンスコーナーを設置しています。

開館時間 10:00~17:30 (入館は17:30まで) **休館日** 毎週月曜日(祝日と重なれば翌平日)、年末年始
住所 奈良県高市郡明日香村飛鳥10 **料金** 無料 ※特別展覧会は有料 ※詳しくは公式サイトをご確認ください。

HP



奈良文化財研究所飛鳥資料館

飛鳥地域で出土した土器・瓦をはじめ山田寺の東面回廊などが展示されています。庭園には亀石などの石造物が復元されています。「飛鳥の宮都」を中心にガイダンスを行っています。

開館時間 9:00~16:30 (入館は16:00まで) **休館日** 毎週月曜日(祝日と重なれば翌平日)、年末年始
住所 奈良県高市郡明日香村奥山601 **料金** 無料 ※展示室は有料 (大人 350円)

HP



橿原市藤原京資料室

1/1000スケールの藤原京大型模型やCG映像、発掘調査で出土した様々な遺物を通して、藤原京の魅力を紹介しています。「藤原の宮都」を中心にガイダンスを行っています。

開室時間 9:00~17:00 (入室は16:30まで) **休館日** 毎週月曜日(祝日と重なれば翌平日)、年末年始
住所 奈良県橿原市縄手町178-1 **料金** 無料

HP



キトラ古墳壁画体験館・四神の館

開館時間 9:30~17:00 (入館は閉館30分前まで) (12月~2月は9:30~16:30)
料金 無料
住所 奈良県高市郡明日香村阿部山67
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、4・7・11・2月の第2月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始



奈良文化財研究所藤原宮跡資料室

開館時間 9:00~16:30 (入館は開館時間まで)
料金 無料
住所 奈良県橿原市木之本町94-1
休館日 年末年始



奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
料金 有料 (大人 400円)
住所 奈良県橿原市畝傍町50-2
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始



歴史に憩う 橿原市博物館

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
料金 有料 (大人 300円)
住所 奈良県橿原市川西町858-1
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始



桜井市立埋蔵文化財センター

開館時間 9:00~16:30 (入館は16:00まで)
料金 有料 (大人 200円)
住所 奈良県桜井市芝58-2
休館日 毎週月曜日・火曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始



明日香村埋蔵文化財展示室

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
料金 無料
住所 奈良県高市郡明日香村飛鳥112
休館日 年末年始



高松塚古墳壁画館

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
料金 有料 (大人 300円)
住所 奈良県高市郡明日香村平田439
休館日 4・7・11・2月の第2月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始

施設の最新情報は各施設のホームページをご覧ください。

飛鳥・藤原の宮都がわかる相関図

飛鳥時代を彩った天皇や皇族たち。そのつながりをたどることで、宮都の移り変わりや歴史の流れをより身近に感じることができます。

